

## 2016年度法学部（政治学科）の出題に関するお知らせ

2月13日に実施いたしました入学試験の試験問題において、下記のとおり出題に関する誤りがあったことが判明しました。当該科目を受験した皆様に心からお詫び申し上げますとともに、皆様に不利益が生じないよう、以下のような採点上の措置を講ずることになりましたのでお知らせします。今回の事態を真摯に受け止め、再発防止に努めてまいります。

### 記

#### 法学部（政治学科）

##### <試験日>

2016年2月13日（土）

##### <試験科目>

「世界史B」

##### <内容>

「I」の「設問7」において、「ネーデルラント」がスペインから独立した北部オランダを指すのか、独立戦争から離脱したネーデルラント南部を指すのかが判断できないため、正誤の判別ができない事が判明しました。

##### <対応措置>

適切な正解を導き出せない状況であることから、全員に得点を与えることとしました。

なお、他の選択科目との間では偏差点計算を行っているため、選択した科目間での有利・不利は生じません。

以上、お知らせ申し上げますとともに、受験生の皆様に多大なるご迷惑をおかけいたしましたこと、重ねてお詫び申し上げます。

2016年2月22日

中央大学

## 2016 年度 入学 試験 問題

# 世界史 B

(試験時間 10:30~11:30 60分)

1. この冊子は、出願時に選択した科目の問題冊子です。科目名を確認のうえ、解答してください。
2. 解答用紙には、記述解答用紙とマーク解答用紙の2種類がありますので注意してください。
3. 解答は、必ず解答欄に記入およびマークしてください。解答欄以外への記入およびマークは無効となりますので注意してください。
4. 解答は、HBの鉛筆またはシャープペンシルを使用し、訂正する場合は、プラスチック製の消しゴムを使用してください。特に、マーク解答用紙には鉛筆のあとや消しくずを残さないでください。
5. 解答用紙を折り曲げたり、汚したりしないでください。また、マーク解答用紙を記述解答用紙の下敷きを使用しないでください。
6. 解答用紙には、必ず受験番号と氏名を記入およびマークしてください。
7. マーク解答用紙への受験番号の記入およびマークは、コンピュータ処理上非常に重要なので、誤記のないよう特に注意してください。

新加坡政府

# 日 史 冊

新加坡政府

新加坡政府

新加坡政府

新加坡政府

新加坡政府

新加坡政府

新加坡政府

新加坡政府

新加坡政府

新加坡政府

新加坡政府

新加坡政府

新加坡政府

I つぎの文章 (A～D) は、ヨーロッパの文化について述べたものである。よく読んで、下記の設問に答えなさい。(30点)

A 古代ギリシア人は、神々が人間の運命をつかさどると考えていた。そのため、ギリシア悲喜劇では、神々によって運命を左右された人間達のドラマが上演されていた。神殿をはじめとする建築では、おもに柱に特徴があり、彫刻美術では、理想的な人間の肉体美が表現された。それらはヨーロッパ近代文明の模範とされる独自の文化遺産である。

ヘレニズム時代には、ギリシア文化とオリエント文化が融合してヘレニズム文化が成立した。ヘレニズム美術は、感情や運動の表現にすぐれた躍動的な作品が多い。これらは、ローマやガンダーラの美術に大きな影響を及ぼした。

ローマ人は、ギリシアから学んだ知識を応用し、さらにヘレニズム文化も取り入れながら独自の文化をつくりあげた。実用的な面ですぐれた才能を発揮したのは、土木・建築技術である。アーチ構造を用いた石積み建築は、高度な建築技術によってつくられた。都市の中心には広場があり、市街地には浴場・凱旋門・闘技場・劇場が建築され、道路や水道橋が配置された。

B ( 1 ) 帝国の文化の特色のひとつは、ギリシア古典文化の遺産とギリシア正教との融合にあった。公用語は7世紀以降ラテン語からギリシア語になり、学問の中心はキリスト教神学であった。

美術では、( 1 ) 様式の教会建築が有名である。代表的な教会建築としては、ハギア=ソフィア聖堂やサン=ヴィターレ聖堂があげられる。また、( 1 ) 帝国の特徴的な美術としては、聖母子像などを描いたイコン美術がさかんに制作された。

C 西ヨーロッパ中世では、人々の日常生活全般にローマ=カトリック教会の絶大な権威がいきわたっていた。学問や文芸が発展したのは、ギリシア古典が、ギリシア語やアラビア語から本格的にラテン語に翻訳されるようになってからである。学問にラテン語がもちいられたのに対し、口語で表現された中世文学の代表が騎士道文

学である。『ローランの歌』や『ニーベルンゲンの歌』『アーサー王物語』など武勳<sup>(d)</sup>や恋愛を題材にした文学作品が知られている。

中世の美術を代表するものは、教会建築とその壁画などである。信仰心に富む中世の人々にとって、教会はなによりも仰ぎみるべきものであった。中世初期には（ 1 ）様式の模倣がおこなわれていた。11世紀にはいと厚い石壁に小さな窓をもつ（ 2 ）様式がうみだされた。12世紀には、頭部のとがった尖塔アーチと空高くそびえる塔を特徴とする（ 3 ）様式があらわれた。（ 3 ）様式の建築では、壁を薄くする技術が進歩したことにより窓が広くなり、美しいステンドグラスがかざられた。また、外壁や柱には彫刻がほどこされた。

D 15世紀になると、政治・経済・社会・宗教・文化などのあらゆる側面で新たな動きがめだち始めた。芸術家は、人体や自然をこまかく観察し、その人物像や風景を正確に描いた。それにより絵画では、遠近法が確立した。その方法により、写実主義の基礎がすえられた。建築の領域では古代ローマ建築の要素を取り入れた（ 4 ）様式がうまれた。また、16世紀にかけて絵画・彫刻などですぐれた芸術作品がうみだされた。<sup>(e)</sup>ネーデルラント<sup>(f)</sup>では、油絵の技法を改良したファン=アイク兄弟が（ 5 ）派を開いた。

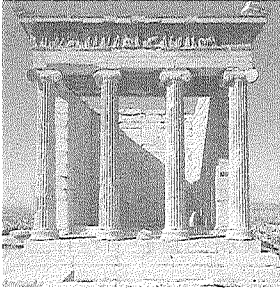
17世紀半ばまでの時期には、人間の自由・解放を求め、各人の個性を尊重しようとする文化があらわれた。17世紀のフランスやスペインで完成された豪壮華麗なバロック美術は、絶対君主の宮廷生活との結びつきを深めた。<sup>(g)</sup>絵画では（ 5 ）派のルーベンスや、その門弟で、宮廷画家としてイギリスで活躍し、「チャールズ1世」など多数の肖像画を残した（ 6 ）が名高い。

18世紀になると、バロック美術にかわって王侯貴族や富裕市民に愛好された繊細優美なロココ美術が広まった。<sup>(h)</sup>

設問1 空欄（1～6）に入るもっとも適切な語句を答えなさい。

設問2 下線部(a)について。下記の図(あ～う)の柱の建築様式はそれぞれ何と呼ばれているか。その名称を答えなさい。

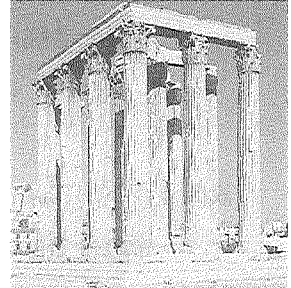
あ.



い.



う.



設問6 下線部(e)について。この時代に活躍した三大巨匠と呼ばれる芸術家は、それぞれ以下のような人物である。その人名を答えなさい。

- (1) システィナ礼拝堂の正面に描かれた大壁画の「最後の審判」を制作した人物。
- (2) 色彩の明暗と遠近法表現がもちいられた絵画「モナ=リザ」を制作した人物。
- (3) 「聖母子と幼児ヨハネ」など多くの聖母子像を描いた人物。

設問7 下線部(f)について。16～17世紀のネーデルラントに関するつぎの記述(あ～う)は正しいか。それぞれについて、正しければ①を、誤っていれば②を、マーク解答用紙にマークしなさい。

あ. バルト海交易や漁業が栄えたうえ、フランドル地方から新教徒の商工業者が移ってきて毛織物業も繁栄した。

い. 1609年にオランダ独立戦争の休戦条約が結ばれ、それによってオランダ独立が国際的に承認された。

う. カトリック勢力の強い北部7州は、やがて独立戦争から脱落したが、ホラント州など南部10州はユトレヒト同盟を結び、イングランドの支援を受けて戦いつづけた。

設問8 下線部(g)について。この時期フランスにおけるカルヴァン派は何と呼ばれていたか。その名称を答えなさい。

設問9 下線部(h)について。以下の選択肢の中からロココ美術で活躍したのは誰か。その人物を選んでマーク解答用紙にマークしなさい。

- ① セザンヌ
- ② ワトー
- ③ ルーベンス
- ④ ムリリョ
- ⑤ ダヴィッド



設問 6 下線部(e)について。この時代に活躍した三大巨匠と呼ばれる芸術家は、それぞれ以下のような人物である。その人名を答えなさい。

- (1) システィナ礼拝堂の正面に描かれた大壁画の「最後の審判」を制作した人物。
- (2) 色彩の明暗と遠近法表現がもちいられた絵画「モナ＝リザ」を制作した人物。
- (3) 「聖母子と幼児ヨハネ」など多くの聖母子像を描いた人物。

設問 7 下線部(f)について。16～17 世紀のネーデルラントに関するつぎの記述(あ～う)は正しいか。それぞれについて、正しければ①を、誤っていれば②を、マーク解答用紙にマークしなさい。

あ。バルト海交易や漁業が栄えたうえ、フランドル地方から新教徒の商工業者が移ってきて毛織物業も繁栄した。

い。1609 年にオランダ独立戦争の休戦条約が結ばれ、それによってオランダ独立が国際的に承認された。

う。カトリック勢力の強い北部 7 州は、やがて独立戦争から脱落したが、ホラント州など南部 10 州はユトレヒト同盟を結び、イングランドの支援を受けて戦いつづけた。

### 以下は大学発表の訂正です

「I」の「設問 7」において、「ネーデルラント」がスペインから独立した北部オランダを指すのか、独立戦争から離脱したネーデルラント南部を指すのかが判断できないため、正誤の判別ができない事が判明しました。

適切な正解を導き出せない状況であることから、全員に得点を与えることとしました。

設問 8 下線部(g)について。この時期フランスにおけるカルヴァン派は何と呼ばれていたか。その名称を答えなさい。

設問 9 下線部(h)について。以下の選択肢の中からロココ美術で活躍したのは誰か。その人物を選んでマーク解答用紙にマークしなさい。

- ① セザンヌ
- ② ワトー
- ③ ルーベンス
- ④ ムリリョ
- ⑤ ダヴィド



II つぎの文章 (A～B) は、イスラーム世界の発展について述べたものである。よく読んで、下記の設問に答えなさい。(36点)

A 7世紀にイスラーム教を創始しアラビア半島全土に影響力を持ったムハンマドは、カーバ神殿のある (ア) の商人クライシュ族の出身であった。それまで古代帝国に支配されたことのないアラビア半島は、新宗教の揺籃の地として適しており、周辺の一帯には今日までイスラーム文化にとって重要な諸都市が見られる。

正統カリフ時代にアラビア半島をこえて征服活動を展開したムスリム軍は、要地に軍事都市 (ミスル) を設けた。ミスルから発展した都市として、アズハル=モスクのある (イ) があげられる。モスクに併設されたアズハル学院はシーア派の学問の中心として栄えたが、(1) 朝のサラディン (サラーフ=アッディーン) の時代に入ってからスンナ派に宗旨替えした。なお、サラディンの墓は、ウマイヤ朝の創始者であるムアーウィアがカリフの地位を宣言し、首都とした都市 (ウ) にある。

アラビア半島に近い (エ) は西暦762年、(2) 朝の第2代カリフであるマンスールによって造営された都である。都の中央には王宮やモスクが建てられ、その周囲には諸官庁が置かれた。やがてユーフラテス川から運河が引かれたことにより、交易拠点として発達した。

これらの都市においては、モスクやバザール、隊商宿などが整備され、都市間交易の拠点となった。イスラーム法 (シャリーア) の下で小切手・手形などの決済システムが整備され、ワクフ という制度も導入された。これらの発想は、近代西欧資本主義法制にも大きな影響を与えたといわれる。

B そもそも預言者が商人であったため、商業を卑しめなかったイスラーム教は、こうして公平な商取引をすすめる宗教として急速に発展した。さらに早くから共通語としてのアラビア語と、共通文化としてのイスラーム法、マドラサで教育を受けた知識人 ウラマー による指導などが、人々に受け入れられたため、イスラーム世界は地理的に拡大したのちも文明としての一体感を維持することができた。

10世紀前半にはイスラーム教諸国が地中海世界で隆盛をきわめた。イベリア半

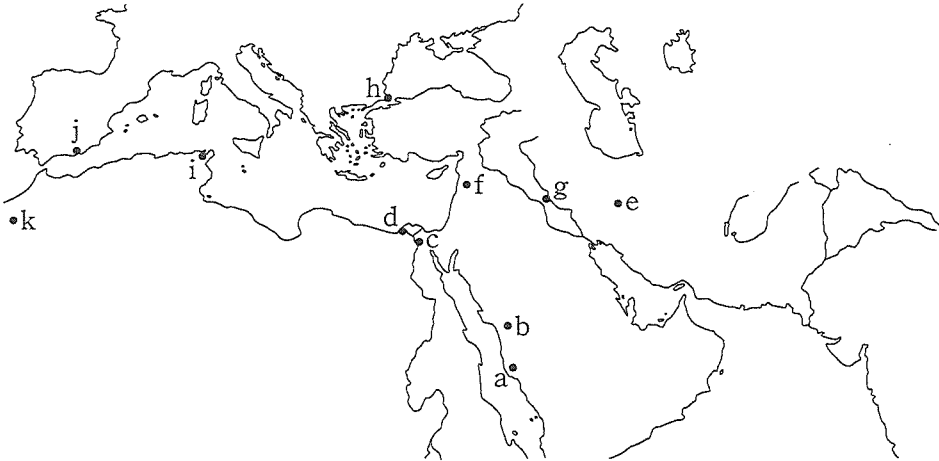
島の後ウマイヤ朝，北アフリカの（ 3 ）朝，アラビア半島からシリアに至る（ 2 ）朝が並び立った。さらにアナトリア（小アジア）も，11世紀後半には（ 4 ）朝の攻勢をうけてイスラーム化されていった。『世界史序説』を著した歴史家（ 5 ）はこの時代について「キリスト教徒は板子一枚地中海に浮かべることはできなかった」と形容している。

北アフリカではその後，（ 3 ）朝に対抗するスンナ派の運動が活発となり，これをうけてモロッコにはムラービト朝が成立した。この王朝はガーナ王国を征服してアフリカ大陸西部からサハラ越えの交易路を確保した結果，首都（ オ ）をはじめ多くの都市の繁栄を導いた。その東方で，12世紀に十字軍をシリアから追い払った王朝とその後継王朝もまた，（ 6 ）といわれる商人集団に国際交易を担わせ，インドとヨーロッパ世界を中継する香辛料貿易などによって莫大な利潤を得た。<sup>(d)</sup>

インドでは13世紀にアイバクがイスラーム王朝を創始し，それに続く4王朝とあわせてイスラーム文化の定着が進んだが，この時期にはヒンドゥー教徒の小王国にも大幅な自治を認めた。16世紀に建国されたイスラーム王朝のムガル朝でも，ヒンドゥー教徒に対する融和政策がとられたが，ムガル朝第6代皇帝の（ 7 ）はヒンドゥー教徒への人頭税を復活させ，ヒンドゥー寺院を破壊するなど圧迫を加えた。

設問1 空欄（1～7）に入るもっとも適切な語句を答えなさい。

設問2 空欄（ア～オ）には都市名が入る。それぞれ都市名を答えなさい。また、地図上の位置として適切なものを、つぎの図から選択し、マーク解答用紙にマークしなさい。



設問3 下線部(a)について。これはどのような制度か。25字以内で説明しなさい。

設問4 下線部(b)について。代表的なウラマーで、『三大陸周遊記』（『旅行記』）を著した人物は誰か。その名前を答えなさい。

設問5 下線部(c)について。この交易路を經由してこの王朝に入ってきたものとして誤っているのはどれか。1つ選んでマーク解答用紙にマークしなさい。

- ① 奴隷
- ② 金
- ③ 陶磁器
- ④ 象牙
- ⑤ 皮革

設問 6 下線部(d)について。以下の文章はこの貿易について、より詳しく記述したものである。文章中の下線部（あ～え）の記述は正しいか。正しければ①、誤っていれば②をマーク解答用紙にマークしなさい。

12世紀末、シーア派<sup>(あ)</sup>の王朝が紅海の貿易を掌握し、東方物産の地中海への積み出しを独占した。典型的なルートとしては、アデンなどでインド商人から香辛料を受け取り、アレクサンドリアに運んでイタリア商人<sup>(い)</sup>に売り渡した。13世紀半ばにこの王朝を継承した王朝も、ムスリム商人<sup>(う)</sup>をアレクサンドリア<sup>(え)</sup>に集住させて東西交易を奨励した。アラビア半島やイランのムスリム商人は、ダウ船と呼ばれる三角帆の船を操り、インド西海岸のカルカッタ<sup>(え)</sup>などでインド洋の物産を積み込んでペルシア湾沿岸の諸港市に陸あげし、陸路でコンスタンティノーブルやシリア諸港に至った。

III つぎの文章（A～C）は、明朝の興亡に関する中国の歴史について述べたものである。よく読んで、下記の設問に答えなさい。（34点）

A 14世紀に入り、気候が地球的規模で寒冷化し、世界各地で自然災害による飢饉や凶作、疫病の流行などがあいついだ。元朝の統治下にあった当時の中国でも同様に飢饉や疫病の流行が続き、農業生産は大幅に低下した。これを受けて、元朝の経済や貿易がともに縮小傾向となり、その財政が急速に逼迫し始めた。そのため、元朝の支配力に明らかな衰えがみえ始め、当時の中国は先行きが不透明な混乱の時代に突入した。

そうした混乱のなかで、中国の江南地方では白蓮教徒らによる農民反乱が起こった。これが（ 1 ）である。それに参加し、徐々に頭角を現してきた貧農出身の（ 2 ）は各地の有力者たちの支持などを得て、1368年に金陵（南京）に明朝をたて帝位についた。それが洪武帝（太祖）である。なお、明朝の時代では、この洪武帝の治世から一世一元の制が採用されるようになった。

1380年には、<sup>(a)</sup>元朝の時代に政治の実権を握っていた中書省やその長官である丞相<sup>(b)</sup>（宰相）などを廃止し、皇帝への権力集中が強化された。その一方で、農村では、翌1381年から全国で実施された里甲制のもとで、治安維持や徴税事務が担われることとなった。それとともに、<sup>(c)</sup>土地台帳と戸籍・租税台帳がそれぞれ整備された。

洪武帝は、自らの息子を王として各地に配置し、北方の防備にあたらせたが、1398年に病死した。そのあとを継いだ明朝第2代皇帝の建文帝が北方の諸王の領地や勢力の削減に着手したのに対抗する形で、北平（北京）の燕王（洪武帝の第4子）が挙兵して、南京を占領し帝位についた。これが永楽帝（成祖）であり、この内乱は（ 3 ）と呼ばれる。

B 15世紀に入り、永楽帝は、（ 4 ）という職を設け首席補佐官役として重用した。1421年に永楽帝は首都を北平に移し北京と改称し、紫禁城を築いた。

当時、明朝では積極的な対外政策が採用された。とくに、イスラーム教徒の宦官の鄭和が皇帝の命を受け7回にわたり、大艦隊をひきいて東南アジアなどに遠征したが、それには諸外国の明朝への朝貢を積極的に促すという目的があった。このた

め、洪武帝以来の（ 5 ）政策の採用により、民間における海上交通・交易などが制限を受ける一方で、明朝を中心とする朝貢貿易が奨励され、冊封体制が構築された。

他方、永楽帝の治世には、『永楽大典』をはじめ、『四書大全』や『五経大全』などの編纂もおこなわれた。

永楽帝が死去したのち、勢力を強めていたモンゴル西部のオイラトの（ 6 ）が1449年に明朝軍を破って、明朝の正統帝（英宗）を捕らえた。この事件は（ 7 ）と呼ばれるが、明朝はその後対外的に守勢に転じ、万里の長城を修築して、北方からの侵入に本格的に備えることになった。

C 一方で16世紀に入り、明朝を中心とする朝貢貿易体制や貿易統制政策などにも動揺がみられるようになった。そのため1567年に、（ 5 ）政策が緩和されて民間人による海外貿易なども一部で許されるようになった。こうして国際的な商業がさらに活発になるとともに、中国国内の商工業の発展も同時に促進されるといった好循環が生じるようになった。

明朝のそうした時代的特徴としては、都市において商業が発展するにともない、同業や同郷の商工業者が公所や会館をつくるようになった点、また明朝政府と結びついた特権商人なども生まれた点などがあげられる。なお、明朝の末期には、新たな穀倉地帯として長江中流域が開発され、「湖広熟すれば天下足る」と称されるほどになった。

明朝の第14代皇帝は万曆帝（神宗）であった。その治世（1572年－1620年）の初期に皇帝を補佐して事実上の宰相の大権を握ったのが（ 8 ）である。

（ 8 ）は万曆帝を補佐して、一条鞭法や検地を全国的に実施し、財政の立て直しと官僚統制の強化に努めた。<sup>(d)</sup>しかしこれがかえって人々の反感をうみ、批判を受けたことから、東林派と非東林派の間の党争を誘発し、政治の混乱が深まった。<sup>(e)</sup>

（ 8 ）の死後に始まった万曆帝の親政以降、とくに17世紀に入り、明朝はしだいに衰退に向うようになった。そして中国ではふたたび、飢饉や重税による生活苦などのために、各地で反乱が起こるようになった。ついに1644年に、270年あまり続き、豊かな文化と繁栄を誇った明朝は李自成の反乱軍によって北京を占領<sup>(f)</sup>

され、滅亡した。そのとき、明朝最後の皇帝となったのが（ 9 ）（毅宗）であった。

設問 1 空欄（1～9）に入るもっとも適切な語句を答えなさい。なお、（2）（6）（8）（9）には人名が入る。

設問 2 下線部(a)について。一世一元の制に関するつぎの記述（あ～う）は正しいか。それぞれについて、正しければ①を、誤っていれば②を、マーク解答用紙にマークしなさい。

あ. この制度のもとでは、一人の皇帝の治世に1つの元号が用いられた。

い. 永楽帝の「永楽」や万曆帝の「万曆」はともにこの制度でいう元号の例である。

う. この制度は清朝のもとで継承されていった。

設問 3 下線部(b)について。皇帝権力の強化等に関するつぎの記述（あ～う）は正しいか。それぞれについて、正しければ①を、誤っていれば②を、マーク解答用紙にマークしなさい。

あ. 吏・戸・礼・兵・刑・工からなる六部を皇帝に直属させ、皇帝が直接決定する体制が築かれた。

い. 軍役を課せられた一般の民戸から徴兵する衛所制が実施された。

う. 朱子学が官学とされ、科挙による官吏登用制度が実施された。

設問 4 下線部(c)について。ここでの土地台帳と戸籍・租税台帳は何と呼ばれるか。その名称をそれぞれ答えなさい。

設問 5 下線部(d)について。16世紀末に全国に広まった一条鞭法はどのような制度か。それを25字以内で説明しなさい。



設問6 下線部(e)について。この党争に関するつぎの記述(あ～う)は正しいか。

それぞれについて、正しければ①を、誤っていれば②を、マーク解答用紙にマークしなさい。

- あ. 東林派の名称はそれが東林書院を拠点としたことに由来する。
- い. 非東林派は佃戸や非特権商人と結んだ士大夫や郷紳の集まりである。
- う. 顧憲成は非東林派のリーダーである。

設問7 下線部(f)について。明朝の時代にあらためて編纂されるなどして完成した「四大奇書」と呼ばれる4つの小説は何か。その名称をそれぞれ答えなさい。

